

施策	7202 市の認知度の向上							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	市のマスコットキャラクターとち介を先頭に、ふるさと大使や市民とともに市内外で栃木市の周知を図り、各種メディアを活用した情報の発信に努める。							
成果指標	とち介市外派遣数・・・120回 とち介Twitterのフォロワー数・・・20,000人 ふるさと大使委嘱人数・団体数・・・25人							
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [回]	予定	70.00	90.00	100.00	110.00	120.00	
		実績	84.00	37.00	5.00			
	成果指標2 [人]	予定	8,500.00	11,000.00	14,000.00	17,000.00	20,000.00	
		実績	8,516.00	10,386.00	11,216.00			
		単位コスト	2.15	1.69	1.57			
	成果指標3 [人]	予定	18.00	20.00	22.00	24.00	25.00	
		実績	24.00	26.00	27.00			
		単位コスト	761.13	676.54	651.30			
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	19,984	17,590	17,585	0	0		
	実績	18,267	17,590	17,585	0	0		
内 部 評 価	貢献度	基本施策が目指す、本市の魅力を発信し本市の認知度の向上を図るとともに、移住定住の促進を実現するため、本施策の貢献度は高い。						
	達成状況	感染症の影響により市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣業務減少のため、成果指標が未達となったが、その他の成果指標については順調に推移している。						
	課題	市民も含め市内外のより多くの人に本市の魅力発信の充実を図る必要がある。併せて、観光客の入込数や市外からの移住者数といった成果への反映検証を行う必要がある。						
	取組方針	市の認知度向上を図るため、観光振興や移住定住促進など庁内他部署との連携による取組みを図るとともに、有効な情報発信により認知度の向上を図りたい。						
外 部 評 価								
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	715401	マスコットキャラクター応援基金積立金				3,833	100	
	701701	マスコットキャラクター活用事業費				8,487	93	
	790201	会計年度任用職員人件費(シティプロモーション課)				6,846	74	

単位施策評価表 補表

施策	7202 市の認知度の向上		
区分	妥当性	妥当	本市のシティプロモーションを展開するうえで市内外での認知度を高めることは必要であり妥当であると考え
	コスト削減の余地	無	各種メディアを活用して市内外に広く本市の周知を図ることが必要であり、コストの削減余地はないと考える。
	受益者負担	適正	受益者負担は適正であると考え
	上位貢献度	有効	基本施策の達成に本施策は有効であると考え
	類似事業の有無	無	類似事業はない
	成果向上の余地	有	成果の向上の余地は十分にあると考える
内部評価	貢献度	基本施策が目指す、本市の魅力を発信し、本市への移住定住の促進を実現するため、本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣業務については、大幅に減少となった。その代わりにSNS等での発信や動画投稿、ライブ配信などによる情報発信を強化したことにより、Twitterフォロワー数は順調に推移しており、その認知度は市内外ともに高くなっている。	
	課題	これまで本市のシティプロモーションはとち介を先頭に展開してきたが、とち介の認知度に対して、本市の認知度が追い付いていない状況は大きな課題である。今後の社会情勢を鑑みて市内外の様々な視点からのシティプロモーションを検討する必要がある。	
	取組方針	市の認知度を向上させる成果として、本市への移住者数の増加やふるさと納税マスコットキャラクター応援基金の増といった指標に貢献するような市外向けのシティプロモーションを実施するとともに、市民に向けても市へのより一層の愛着を感じていただけるような情報発信に努める。	